

ライフハーモニー(ダイワ世界資産分散ファンド) (成長型/安定型/分配型)

追加型投信/内外/資産複合

基準日：2025年3月31日

「成長型」の運用状況

信託期間：2006年11月28日 から 無期限

決算日：毎年5月15日および11月15日(休業日の場合翌営業日)

回次コード：4723

※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

「基準価額・純資産の推移」

2025年3月31日現在

基準価額	11,521 円
純資産総額	39億円

期間別騰落率

期間	ファンド
1か月間	+0.1 %
3か月間	-2.3 %
6か月間	+1.7 %
1年間	+3.7 %
3年間	+31.7 %
5年間	+111.2 %
年初来	-2.3 %
設定来	+155.9 %



※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。
 ※基準価額の計算において、実質的な運用管理費用(信託報酬)は控除しています(後述のファンドの費用をご覧ください)。
 ※「期間別騰落率」の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間とし、当該ファンドの「分配金再投資基準価額」を用いた騰落率を表しています。
 ※実際のファンドでは、課税条件によって投資者ごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

「分配の推移」

(1万口当たり、税引前)

決算期(年/月)	分配金
第1~24期 合計:	2,440円
第25期 (19/05)	10円
第26期 (19/11)	150円
第27期 (20/05)	10円
第28期 (20/11)	50円
第29期 (21/05)	1,300円
第30期 (21/11)	1,300円
第31期 (22/05)	550円
第32期 (22/11)	600円
第33期 (23/05)	300円
第34期 (23/11)	650円
第35期 (24/05)	1,250円
第36期 (24/11)	800円
分配金合計額	設定来：9,410円

※分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

「主要な資産の状況」

※比率は、純資産総額に対するものです。

資産クラス別構成		
資産クラス	ファンド数	比率
外国株式	3	40.5%
国内株式	3	33.5%
外国債券	4	11.7%
国内リート	1	4.9%
コモディティ	1	3.1%
外国リート	1	2.9%
国内債券	1	1.9%
コール・ローン、その他		1.4%
合計	14	100.0%

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和アセットマネジメントにより作成されたものです。当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって投資元本が保証されているものではありません。当ファンドの取得をご希望の場合には投資信託説明書(交付目論見書)を販売会社よりお渡しいたしますので、必ず内容をご確認の上ご自身でご判断ください。後述の当資料のお取り扱いにおけるご注意をよくお読みください。

設定・運用:

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

商号等

大和アセットマネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号

加入協会

一般社団法人投資信託協会
 一般社団法人日本投資顧問業協会
 一般社団法人第二種金融商品取引業協会

「安定型」の運用状況

信託期間 : 2006年11月28日 から 無期限

決算日 : 毎年5月15日および11月15日(休業日の場合翌営業日)

回次コード : 4724

※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

「基準価額・純資産の推移」

2025年3月31日現在

基準価額	10,782 円
純資産総額	12億円

期間別騰落率

期間	ファンド
1カ月間	-0.2 %
3カ月間	-2.4 %
6カ月間	-0.6 %
1年間	-0.3 %
3年間	+9.3 %
5年間	+39.9 %
年初来	-2.4 %
設定来	+67.5 %



※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。
 ※基準価額の計算において、実質的な運用管理費用(信託報酬)は控除しています(後述のファンドの費用をご覧ください)。
 ※「期間別騰落率」の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間とし、当該ファンドの「分配金再投資基準価額」を用いた騰落率を表しています。
 ※実際のファンドでは、課税条件によって投資者ごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

「分配の推移」

(1万口当たり、税引前)

決算期(年/月)	分配金
第1~24期 合計:	1,950円
第25期 (19/05)	50円
第26期 (19/11)	100円
第27期 (20/05)	50円
第28期 (20/11)	50円
第29期 (21/05)	500円
第30期 (21/11)	600円
第31期 (22/05)	150円
第32期 (22/11)	100円
第33期 (23/05)	50円
第34期 (23/11)	150円
第35期 (24/05)	550円
第36期 (24/11)	300円
分配金合計額	設定来: 4,600円

「主要な資産の状況」

※比率は、純資産総額に対するものです。

資産クラス別構成		
資産クラス	ファンド数	比率
国内債券	2	33.3%
外国債券	4	22.8%
国内株式	3	18.0%
外国株式	2	11.7%
国内リート	1	4.9%
コモディティ	1	4.9%
外国リート	1	2.8%
コール・ローン、その他		1.6%
合計	14	100.0%

※分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

「分配型」の運用状況

信託期間 : 2006年11月28日 から 無期限

決算日 : 毎年1、3、5、7、9、11月の各15日(休業日の場合翌営業日)

回次コード : 4725

※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

「基準価額・純資産の推移」

2025年3月31日現在

基準価額	10,245 円
純資産総額	61億円

期間別騰落率

期間	ファンド
1カ月間	+0.6 %
3カ月間	-2.4 %
6カ月間	+0.4 %
1年間	+2.4 %
3年間	+19.3 %
5年間	+60.5 %
年初来	-2.4 %
設定来	+95.7 %



※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。
 ※基準価額の計算において、実質的な運用管理費用(信託報酬)は控除しています(後述のファンドの費用をご覧ください)。
 ※「期間別騰落率」の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間とし、当該ファンドの「分配金再投資基準価額」を用いた騰落率を表しています。
 ※実際のファンドでは、課税条件によって投資者ごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

「分配の推移」

(1万口当たり、税引前)

決算期(年/月)	分配金
第1~98期 合計:	4,245円
第99期 (23/05)	15円
第100期 (23/07)	15円
第101期 (23/09)	15円
第102期 (23/11)	15円
第103期 (24/01)	15円
第104期 (24/03)	80円
第105期 (24/05)	200円
第106期 (24/07)	400円
第107期 (24/09)	15円
第108期 (24/11)	50円
第109期 (25/01)	15円
第110期 (25/03)	15円
分配金合計額	設定来: 5,095円

「主要な資産の状況」

※比率は、純資産総額に対するものです。

資産クラス別構成		
資産クラス	ファンド数	比率
外国債券	5	58.5%
外国株式	2	12.7%
外国リート	1	11.7%
国内株式	1	7.0%
国内リート	1	4.9%
コモディティ	1	2.9%
国内債券	1	1.0%
コール・ローン、その他		1.3%
合計	12	100.0%

※分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

《3月の資産クラス別騰落率》 成長型

資産クラス		騰落率
国内株式	ファンド	+1.5%
	参考指標: TOPIX(配当込み)	+1.9%
海外株式	ファンド	-0.7%
	参考指標1: MSCIロクサイ・インデックス(配当込み)	-2.1%
	参考指標2: MSCIエマーキング・マーケット・インデックス(配当込み)	+1.1%
国内債券	ファンド	-1.0%
	参考指標: NOMURA-BPI総合	-1.2%
海外債券	ファンド	+0.7%
	参考指標1: FTSE世界国債インデックス(除く日本)	+1.4%
	参考指標2: JPモルガンEMBIグローバル・ダイバーシファイド	+0.5%
国内リート	ファンド	-0.8%
	参考指標: 東証REIT指数(配当込み)	-0.3%
海外リート	ファンド	-2.0%
	参考指標: S&P先進国REIT指数(除く日本、配当込み)	-2.9%
コモディティ	ファンド	+0.4%
	参考指標: ロジャーズ国際コモディティ指数® (RICI®)	+0.5%

※参考指標1は先進国、2は新興国を対象とした指標です。資産クラス別騰落率は、組入ファンドの基準価額・組入比率を基に計算した概算値となります。
 ※MSCIロクサイ・インデックス(配当込み)、FTSE世界国債インデックス(除く日本)については、国別指数(現地通貨ベース)、為替レート、国別構成比を基に、MSCIエマーキング・マーケット・インデックス(配当込み)、JPモルガンEMBIグローバル・ダイバーシファイド、S&P先進国REIT指数(除く日本、配当込み)、ロジャーズ国際コモディティ指数® (RICI®)については、米ドルベース指数と為替レートを基に大和ファンド・コンサルティングが独自に計算しています。

出所: 大和ファンド・コンサルティング

成長型 組入ファンド

資産クラス	比率	運用会社名	投資信託証券(ファンド名)	騰落率		
				1か月間	3か月間	6か月間
国内株式	33.5%	5.9% 大和アセットマネジメント	ダイワ中小型株ファンド	+1.9%	-0.9%	+1.2%
		16.0% アセットマネジメントOne	DIAM国内株式アクティブ市場型ファンド	+2.4%	-1.2%	+3.1%
		11.7% ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント	日本長期成長株集中投資ファンド	+0.0%	-3.6%	-1.3%
海外株式	40.5%	9.7% 大和アセットマネジメント	ダイワ/GQGグローバル・エクイティ	-2.4%	-5.3%	+0.9%
		28.5% ニッセイアセットマネジメント	ニッセイ/サンダース・グローバルバリュー株式ファンド	-0.3%	-2.1%	+4.1%
		2.3% ニューメリック・インベスターズ・エルエルシー	マン・システムティック・エマーキング・マーケット・エクイティ クラスI	+1.4%	+0.2%	+4.4%
国内債券	1.9%	1.9% 明治安田アセットマネジメント	明治安田日本債券アクティブ・ファンド	-1.0%	-1.9%	-2.8%
海外債券	11.7%	2.0% 三井住友DSアセットマネジメント	T. ロウ・プライス新興国債券オープンM	+0.9%	-2.7%	+3.6%
		2.9% フランクリン・テンプレトン・ジャパン	ブランディアイン外国債券ファンド	+2.1%	-1.3%	-0.6%
		4.9% 大和アセットマネジメント	ダイワ中長期世界債券ファンド	+0.5%	-3.1%	-1.5%
		1.9% ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント・インターナショナル	グローバル・ハイ・イールド・ポートフォリオ II*	-1.2%	-4.6%	+5.5%
国内リート	4.9%	4.9% 大和アセットマネジメント	ダイワJ-REITアクティブ・マザーファンド	-0.8%	+3.5%	+0.6%
海外リート	2.9%	2.9% 大和アセットマネジメント	ダイワ海外REIT・マザーファンド	-2.0%	-3.7%	-1.8%
コモディティ	3.1%	3.1% ダイワ・アセット・マネジメント(シンガポール)リミテッド	ダイワ"RICI"ファンド*	+0.4%	-0.7%	+10.6%

※各組入ファンドの組入比率、騰落率は、ライフハーモニー(成長型)における組入資産の評価時点の数値です。
 ※運用会社名および投資信託証券(ファンド名)の正式名称については、「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。
 ※上記*のファンド騰落率は、ライフハーモニー(成長型)の基準価額の算出方法に合わせて、円ベースに換算した数値です。
 ※2024年11月11日より「マン・ニューメリック・エマーキング・マーケット・エクイティ クラスI」から「マン・システムティック・エマーキング・マーケット・エクイティ クラスII」に名称変更しております。

《3月の資産クラス別騰落率》 安定型

資産クラス		騰落率
国内株式	ファンド	+1.7%
	参考指標: TOPIX(配当込み)	+1.9%
海外株式	ファンド	-1.2%
	参考指標1: MSCIコクサイ・インデックス(配当込み)	-2.1%
国内債券	ファンド	-1.1%
	参考指標: NOMURA-BPI総合	-1.2%
海外債券	ファンド	+0.8%
	参考指標1: FTSE世界国債インデックス(除く日本)	+1.4%
	参考指標2: JPモルガンEMBIグローバル・ダイバーシファイド	+0.5%
国内リート	ファンド	-0.8%
	参考指標: 東証REIT指数(配当込み)	-0.3%
海外リート	ファンド	-2.0%
	参考指標: S&P先進国REIT指数(除く日本、配当込み)	-2.9%
コモディティ	ファンド	+0.4%
	参考指標: ロジャーズ国際コモディティ指数® (RICI®)	+0.5%

※参考指標1は先進国、2は新興国を対象とした指標です。資産クラス別騰落率は、組入ファンドの基準価額・組入比率を基に計算した概算値となります。
 ※MSCIコクサイ・インデックス(配当込み)、FTSE世界国債インデックス(除く日本)については、国別指数(現地通貨ベース)、為替レート、国別構成比を基に、JPモルガンEMBIグローバル・ダイバーシファイド、S&P先進国REIT指数(除く日本、配当込み)、ロジャーズ国際コモディティ指数® (RICI®)については、米ドルベース指数と為替レートを基に大和ファンド・コンサルティングが独自に計算しています。

出所: 大和ファンド・コンサルティング

安定型 組入ファンド

資産クラス	比率	運用会社名	投資信託証券(ファンド名)	騰落率		
				1カ月間	3カ月間	6カ月間
国内株式	18.0%	3.0% 大和アセットマネジメント	ダイワ中小型株ファンド	+1.9%	-0.9%	+1.2%
		10.2% アセットマネジメントOne	DIAM国内株式アクティブ市場型ファンド	+2.4%	-1.2%	+3.1%
		4.8% ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント	日本長期成長株集中投資ファンド	+0.0%	-3.6%	-1.3%
海外株式	11.7%	4.8% 大和アセットマネジメント	ダイワ/GQGグローバル・エクイティ	-2.4%	-5.3%	+0.9%
		6.9% ニッセイアセットマネジメント	ニッセイ/サンダース・グローバルバリュー株式ファンド	-0.3%	-2.1%	+4.1%
国内債券	33.3%	18.6% マニウライフ・インベストメント・マネジメント	マニウライフ日本債券アクティブ・ファンドM	-1.2%	-2.4%	-3.7%
		14.7% 明治安田アセットマネジメント	明治安田日本債券アクティブ・ファンド	-1.0%	-1.9%	-2.8%
海外債券	22.8%	5.0% フランクリン・テンプレートン・ジャパン	ブランディワイン外国債券ファンド	+2.1%	-1.3%	-0.6%
		5.0% 三井住友DSアセットマネジメント	T. ロウ・プライス新興国債券オープンM	+0.9%	-2.7%	+3.6%
		10.9% 大和アセットマネジメント	ダイワ中長期世界債券ファンド	+0.5%	-3.1%	-1.5%
国内リート	4.9%	1.9% ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント・インターナショナル	グローバル・ハイ・イールド・ポートフォリオII*	-1.2%	-4.6%	+5.5%
		4.9% 大和アセットマネジメント	ダイワJ-REITアクティブ・マザーファンド	-0.8%	+3.5%	+0.6%
海外リート	2.8%	大和アセットマネジメント	ダイワ海外REIT・マザーファンド	-2.0%	-3.7%	-1.8%
コモディティ	4.9%	ダイワ・アセット・マネジメント(シンガポール)リミテッド	ダイワ“RICI”ファンド*	+0.4%	-0.7%	+10.6%

※各組入ファンドの組入比率、騰落率は、ライフハーモニー(安定型)における組入資産の評価時点の数値です。
 ※運用会社名および投資信託証券(ファンド名)の正式名称については、「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。
 ※上記*のファンド騰落率は、ライフハーモニー(安定型)の基準価額の算出方法に合わせて、円ベースに換算した数値です。

《3月の資産クラス別騰落率》 分配型

資産クラス		騰落率
国内株式	ファンド 参考指標: TOPIX(配当込み)	+2.4% +1.9%
海外株式	ファンド 参考指標1: MSCIコクサイ・インデックス(配当込み)	-1.3% -2.1%
国内債券	ファンド 参考指標: NOMURA-BPI総合	-1.0% -1.2%
海外債券	ファンド 参考指標1: FTSE世界国債インデックス(除く日本) 参考指標2: JPモルガンEMBIグローバル・ダイバーシファイド	+1.4% +1.4% +0.5%
国内リート	ファンド 参考指標: 東証REIT指数(配当込み)	-0.8% -0.3%
海外リート	ファンド 参考指標: S&P先進国REIT指数(除く日本、配当込み)	-0.9% -2.9%
コモディティ	ファンド 参考指標: ロジャーズ国際コモディティ指数® (RICI®)	+0.4% +0.5%

※参考指標1は先進国、2は新興国を対象とした指標です。資産クラス別騰落率は、組入ファンドの基準価額・組入比率を基に計算した概算値となります。
 ※MSCIコクサイ・インデックス(配当込み)、FTSE世界国債インデックス(除く日本)については、国別指数(現地通貨ベース)、為替レート、国別構成比を基に、JPモルガンEMBIグローバル・ダイバーシファイド、S&P先進国REIT指数(除く日本、配当込み)、ロジャーズ国際コモディティ指数® (RICI®)については、米ドルベース指数と為替レートを基に大和ファンド・コンサルティングが独自に計算しています。

出所: 大和ファンド・コンサルティング

分配型 組入ファンド

資産クラス	比率	運用会社名	投資信託証券(ファンド名)	騰落率			
				1カ月間	3カ月間	6カ月間	
国内株式	7.0%	7.0%	アセットマネジメントOne	DIAM国内株式アクティブ市場型ファンド	+2.4%	-1.2%	+3.1%
海外株式	12.7%	5.8%	大和アセットマネジメント	ダイワ/GQGグローバル・エクイティ	-2.4%	-5.3%	+0.9%
		6.9%	ニッセイアセットマネジメント	ニッセイ/サンダース・グローバルバリュー株式ファンド	-0.3%	-2.1%	+4.1%
国内債券	1.0%	1.0%	明治安田アセットマネジメント	明治安田日本債券アクティブ・ファンド	-1.0%	-1.9%	-2.8%
海外債券	58.5%	29.8%	大和アセットマネジメント	ダイワ世界債券ファンドM	+2.6%	-1.1%	+0.1%
		7.9%	三井住友DSアセットマネジメント	T. ロウ・プライス新興国債券オープンM	+0.9%	-2.7%	+3.6%
		4.9%	大和アセットマネジメント	ダイワ米ドル建て新興国債券ファンドM	+0.7%	-2.2%	+4.1%
		8.9%	大和アセットマネジメント	ダイワ中長期世界債券ファンド	+0.5%	-3.1%	-1.5%
		6.9%	ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント・インターナショナル	グローバル・ハイ・イールド・ポートフォリオII*	-1.2%	-4.6%	+5.5%
国内リート	4.9%	4.9%	大和アセットマネジメント	ダイワJ-REITアクティブ・マザーファンド	-0.8%	+3.5%	+0.6%
海外リート	11.7%	11.7%	大和アセットマネジメント	ダイワ・グローバルREIT・マザーファンド	-0.9%	-3.5%	-4.8%
コモディティ	2.9%	2.9%	ダイワ・アセット・マネジメント(シンガポール)リミテッド	ダイワ"RICI"ファンド*	+0.4%	-0.7%	+10.6%

※各組入ファンドの組入比率、騰落率は、ライフハーモニー(分配型)における組入資産の評価時点の数値です。
 ※運用会社名および投資信託証券(ファンド名)の正式名称については、「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。
 ※上記*のファンド騰落率は、ライフハーモニー(分配型)の基準価額の算出方法に合わせて、円ベースに換算した数値です。

※TOPIXの指数値及びTOPIXに係る標章又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社(以下「JPX」という。)の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利・ノウハウ及びTOPIXに係る標章又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。JPXは、TOPIXの指数値の算出又は公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。本商品は、JPXにより提供、保証又は販売されるものではなく、本商品の設定、販売及び販売促進活動に起因するいかなる損害に対してもJPXは責任を負いません。

※FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

◆「ライフハーモニー(ダイワ世界資産分散ファンド)(成長型)」、「同(安定型)」、「同(分配型)」を、それぞれ「成長型」、「安定型」、「分配型」という場合があります。

【市況概況】

(国内株式)

3月のTOPIX（東証株価指数、配当込み）は、1.9%の上昇となりました（*1）。

国内株式市場は上昇しました。トランプ米大統領が関税引き上げが米景気後退をもたらす可能性を明確に否定しなかったことで、投資家心理が悪化し、月半ばにかけて上値の重い展開が続きました。その後、米国株の上昇や好調な2025年春闘を好感して国内株も大きく反発しましたが、米政権の関税政策を巡る不透明感が根強い中、米経済がスタグフレーションに陥る可能性への懸念から投資家心理が悪化し、上昇幅はやや縮小しました。

(海外株式)

3月のMSCIコクサイ・インデックス（配当込み、現地通貨建）は3.8%の下落、MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、現地通貨建）は0.1%の下落となりました（円建ではそれぞれ、2.1%下落、1.1%上昇）（*2）。

海外株式市場は下落しました。米国の弱い経済指標を受けて景気減速懸念が強まったことに加え、トランプ米政権による関税政策が世界経済に与える影響が懸念され、月半ばにかけて下落基調で推移しました。その後はドイツが財政拡大路線へ転換したことなどを好感したほか、自律反発と見られる動きもありましたが、相互関税についての報道が二転三転するなど、トランプ関税を巡る不透明感が根強い中で上値の重い展開が続きました。

業種別では、情報技術や一般消費財・サービスなどが下落しました。

新興国株式市場は、インドなどが上昇した一方、台湾などが下落しました。

(国内債券)

3月のNOMURA-BPI総合は、1.2%の下落となりました（*1）。

国内債券市場では、金利は上昇（債券価格は下落）しました。ユーロ圏の金利上昇や2025年春闘での賃上げ期待の高まりを受けて、国内金利は上昇しました。また、日銀高官が利上げ継続の姿勢を示したことも国内金利の上昇要因となりました。

(海外債券)

3月のFTSE世界国債インデックス（除く日本）（現地通貨建）は0.8%の下落、JPモルガンEMBIグローバル・ダイバーシファイド（米ドル建）は0.7%の下落となりました（円建ではそれぞれ、1.4%上昇、0.5%上昇）（*2）。

先進国債券市場で米国、欧州の長期金利はともに上昇（債券価格は下落）しました。米国では、FRB（米国連邦準備制度理事会）が経済見通しを引き下げたことなどから、利下げ織り込みが加速し、短期金利は低下（債券価格は上昇）しましたが、関税をめぐる不透明感やインフレ懸念などから、長期金利は上昇基調で推移しました。欧州では、ドイツの財政ルールの改正案が可決され、国防費とインフラ（社会基盤）投資が大幅に増加する方針が決定されたことから金利は上昇しました。また、ECB（欧州中央銀行）は理事会で追加利下げを決定したものの、ラガルド総裁は今後の利下げについては慎重な姿勢を示したことも、ユーロ圏の金利の上昇要因となりました。

社債市場では、投資適格債のクレジット・スプレッド（国債に対する利回りの上乗せ幅）、ハイ・イールド債のクレジット・スプレッドはともにやや拡大しました。

米ドル建て新興国債券市場は、スプレッド（米国国債に対する利回りの上乗せ幅）はやや拡大しました。

(国内リート)

3月の東証REIT指数（配当込み）は、0.3%の下落となりました（*3）。

国内リート市場は小幅に下落しました。3月上旬は国内長期金利の上昇などにより下落しました。その後中旬以降は、良好な賃貸市場や自己投資口取得（バイバック）の発表が複数あったことなどが好感され、緩やかに上昇しました。しかし、月末にトランプ米大統領の関税政策への不安から株安が進むと国内リート市場も下落し、月間では小幅の下落となりました。

(海外リート)

3月のS&P先進国REIT指数（除く日本）（配当込み、米ドル建）は、2.8%の下落となりました（円建では、2.9%の下落）（*1）。

海外リート市場は下落しました。国・地域別ではまちまちの展開でしたが、ウエートの高い米国が全体の下落を主導しました。米国では、AI（人工知能）関連需要の鈍化が懸念されたハイテク株安に連れてデータセンターが下落したほか、関税政策や景気減速への懸念からホテル/リゾート、ショッピングモール、産業施設などが下落しました。一方、業績の安定性が特に高い通信やヘルスケアは上昇しました。アジア・太平洋圏においては、シンガポール、香港は上昇、オーストラリアは下落しました。

※資産クラスごとの参考指数の騰落率の計算に当たっては、ファンドにおける組入資産の評価時点に合わせて計算を行います。（*1）国内株式・債券、海外リート、為替：前月の最終営業日の前営業日から、当月の最終営業日の前営業日までの期間について計測しています。（*2）海外株式・債券、コモディティ：前月の最終営業日の前々営業日から、当月の最終営業日の前々営業日までの期間について計測しています。（*3）国内リート：前月の最終営業日から、当月の最終営業日までの期間について計測しています。

出所：大和ファンド・コンサルティング

【市況概況】

(コモディティ)

3月のロジャーズ国際コモディティ指数® (RICI®) (米ドル建)は、0.6%の上昇となりました(円建では、0.5%の上昇)(*2)。

商品市況は上昇しました。原油(WTI)は、OPEC(石油輸出国機構)プラスが減産を縮小する方針を示したことが上値を抑えた一方、中東の地政学リスクなどが下支えとなり横ばい圏で推移しました。メタルは、安全資産としての需要から貴金属を中心に上昇しました。農産物は、貿易摩擦の激化で輸出の減少が懸念された米国産穀物を中心に下落しました。

(為替)

3月の外国為替市場は、対円で米ドル、ユーロともに上昇(円安)しました(*1)。

為替市場で米ドルは、米国で利下げ織り込みが加速し、日米の短期金利差の縮小が意識されたことで月上旬にかけて円高米ドル安となりました。しかしその後は、米国金利が上昇基調で推移したことなどを背景に対円で上昇しました。ユーロは、ユーロ圏の金利が上昇したことから、対円で上昇しました。また、日銀が利上げの実施を見送ったことなども円安要因となりました。

新興国通貨は対円でおおむね上昇(円安)しました。

※資産クラスごとの参考指数の騰落率の計算に当たっては、ファンドにおける組入資産の評価時点に合わせて計算を行います>(*1)国内株式・債券、海外リート、為替:前月の最終営業日の前営業日から、当月の最終営業日の前営業日までの期間について計測しています>(*2)海外株式・債券、コモディティ:前月の最終営業日の前々営業日から、当月の最終営業日の前々営業日までの期間について計測しています。

【成長型】

(ファンド配分)

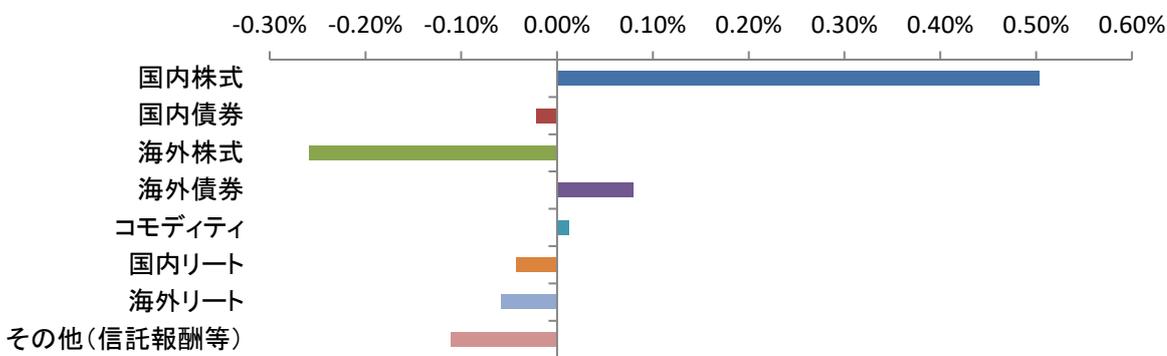
資産配分及びファンド配分については、前月の方針を継続しました。

(運用コメント)

当月のライフハーモニー(成長型)の基準価額騰落率は0.1%となりました。

純資産総額に対して約34%組み入れている国内株式ファンドなどがプラス寄与しました。一方、約41%組み入れている海外株式ファンドなどがマイナス寄与しました。

成長型:資産別リターン寄与度



(今後の運用方針)

引き続き成長性を重視した資産配分、組入ファンドの配分を行います。

出所:大和ファンド・コンサルティング

【安定型】

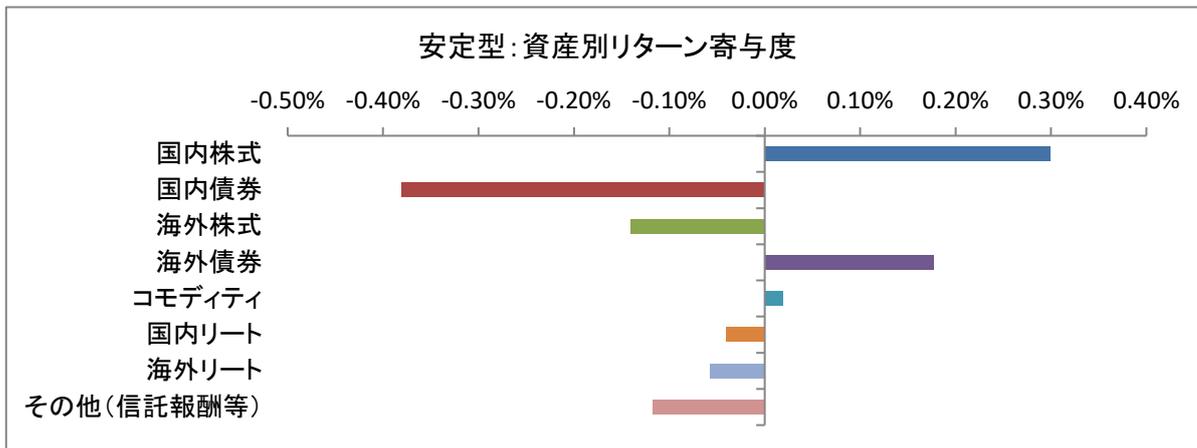
(ファンド配分)

資産配分及びファンド配分については、前月の方針を継続しました。

(運用コメント)

当月のライフハーモニー（安定型）の基準価額騰落率は-0.2%となりました。

純資産総額に対して約33%組み入れている国内債券ファンドなどがマイナス寄与しました。一方、約18%組み入れている国内株式ファンドなどがプラス寄与しました。



(今後の運用方針)

引き続きリスク分散を重視した資産配分、組入ファンドの配分を行います。

【分配型】

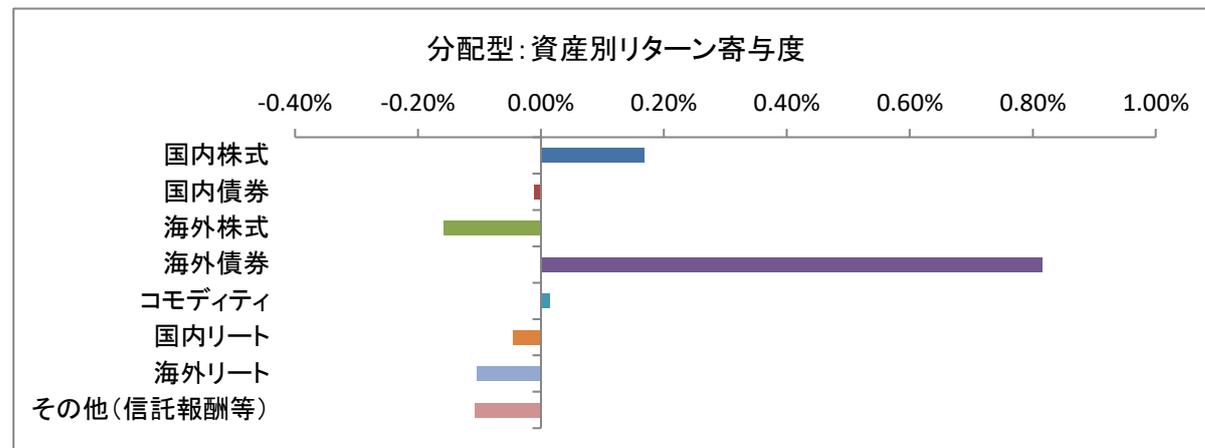
(ファンド配分)

資産配分及びファンド配分については、前月の方針を継続しました。

(運用コメント)

当月のライフハーモニー（分配型）の基準価額騰落率は0.6%となりました。

純資産総額に対して約58%組み入れている海外債券ファンドなどがプラス寄与しました。



(今後の運用方針)

引き続き分配を重視した資産配分、組入ファンドの配分を行います。

出所: 大和ファンド・コンサルティング

大和ファンド・コンサルティングによるファンドの評価一覧		
資産クラス	投資信託証券(ファンド名) 運用会社名	大和ファンド・コンサルティングによるファンド評価
国内株式	ダイワ中小型株ファンド 大和アセットマネジメント株式会社	■ 徹底的なボトムアップにより、競争優位性や成長実現、経営者の意欲等を確認し、確信度の高まった企業に選別投資することにより、安定的な収益確保が期待できる。
	DIAM国内株式アクティブ市場型ファンド アセットマネジメントOne株式会社	■ 豊富な経験、知識、運用ノウハウを持つ運用担当者により、多様な投資アイデアをもとに、安定的なリターンを獲得が期待できる。
	日本長期成長株集中投資ファンド ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社	■ 高い確信度を持った中長期グロース銘柄への集中投資が一貫して行われており、バリュエーション・タイミングに注意してエントリーを行うため、下値リスクが抑制され安定したパフォーマンスを実現している。
海外株式	ダイワ／GQGグローバル・エクイティ 大和アセットマネジメント株式会社	■ 持続的な利益成長が見込める中長期クオリティグロース銘柄に投資し、環境変化に機動的な銘柄入れ替えで対応することで安定的な超過収益の獲得が期待される。
	マン・システムティック・エマージング・マーケット・エクイティ ニューメリック・インベスターズ・エルエルシー	■ 株価がオーバーシュートしやすい新興国株式市場において、合理的なモデルできめ細かく収益機会をとらえていることから、安定的に超過収益を獲得している。
	ニッセイ／サンダース・グローバルバリュー株式ファンド ニッセイアセットマネジメント株式会社	■ 割安株投資に関する長年の運用経験を活かした銘柄選択を行っており、安定したリターンの獲得が期待できる。
国内債券	マニユライフ日本債券アクティブ・ファンドM マニユライフ・インベストメント・マネジメント株式会社	■ 多様な定量分析を活用した金利戦略と、ダウンサイドリスクに配慮しつつ、リスク対比でのリターン獲得を目指すクレジット戦略をバランスよく組み合わせることにより、トータルリターンの獲得が期待できる。
	明治安田日本債券アクティブ・ファンド 明治安田アセットマネジメント株式会社	■ 多様な定量分析と、綿密なファンダメンタル分析を基に、金利戦略とクレジット戦略をバランスよく組み合わせることにより、トータルリターンの獲得が期待できる。

※投資信託証券(ファンド名)および運用会社名の正式名称については、「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

出所: 大和ファンド・コンサルティング

大和ファンド・コンサルティングによるファンドの評価一覧

資産クラス	投資信託証券(ファンド名) 運用会社名	大和ファンド・コンサルティングによるファンド評価
海外債券	ダイワ世界債券ファンドM 大和アセットマネジメント株式会社	■ 明瞭(めいりょう)な運用プロセスの下、地域別の調査分析体制を有効に活用した規律ある運用が実践されており、安定した収益の確保を重視した運用についての経験と対応力も有している。
	T. ロウ・プライス新興国債券オープンM 三井住友DSアセットマネジメント株式会社	■ 明確な運用哲学の下、新興国の債券・為替市場について深い知識と豊富な運用経験を持つ運用責任者が、合理的な投資判断を行っている。これにより収益機会を的確に捉えた超過収益の実現が期待される。
	ダイワ米ドル建て新興国債券ファンドM 大和アセットマネジメント株式会社	■ 明瞭(めいりょう)で規律ある運用プロセスの下、効率的な運用が実践されている。 ■ 十分な経験を有する運用者および組織により継続性が確保されている。
	ブランディワイン外国債券ファンド フランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社	■ 豊富な運用経験を持つ運用者により、一貫した投資哲学に基づく運用が実践されている。 ■ 大局的かつ中長期的な視点に基づくグローバル経済の分析により、割安な投資機会を的確に捉えた投資アイデアが創出され、ポートフォリオに反映されている。
	ダイワ中長期世界債券ファンド 大和アセットマネジメント株式会社	■ 明瞭で規律ある運用プロセスの下、効率的な運用が実践されている。十分な経験を有する運用者および組織により継続性が確保されている。
	グローバル・ハイ・イールド・ポートフォリオ II ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント・インターナショナル	■ 明快な視点に基づく独自の企業調査を踏まえ、投資対象銘柄の利回り水準の魅力度と信用力のバランスを踏まえた的確な投資判断と銘柄分散が実践されている。
国内リート	ダイワJ-REITアクティブ・マザーファンド 大和アセットマネジメント株式会社	■ 成長過程にあるJ-REIT市場の現状や個別銘柄の特性を十分に踏まえた上で、株式運用経験を活かした明瞭(めいりょう)な投資判断が実践されている。 ■ 銘柄構成の決定に際しては、組入銘柄における投資物件の用途等が偏らないように、全体のバランスについての配慮がなされている。
海外リート	ダイワ海外REIT・マザーファンド 大和アセットマネジメント株式会社	■ グローバルなリート市場の拡大が予想される中で、調査体制の拡充が図られており、幅広く投資機会を捉えることが期待される。 ■ アナリストの調査結果を踏まえた合理的な投資判断が運用者により実践されており、投資機会を的確に発見することが期待される。
	ダイワ・グローバルREIT・マザーファンド 大和アセットマネジメント株式会社	■ グローバルなリート市場の拡大が予想される中で、調査体制の拡充が図られており、幅広く投資機会を捉えることが期待される。 ■ アナリストの調査結果を踏まえた合理的な投資判断が運用者により実践されており、投資機会を的確に発見することが期待される。 ■ 配当等収益の確保を重視した運用についての経験と対応力も有している。
コモディティ	ダイワ“RICI”ファンド ダイワ・アセット・マネジメント(シンガポール)リミテッド	■ ロジャーズ国際コモディティ指数®の品目構成は、専門委員会において経済への重要度を考慮した上で決定されており、継続的にきめ細かい見直しを実施されている。また、対象品目は幅広くカバーされており、商品市況を表す指標として適格と考えられる。 ■ 内外の株式、債券、不動産と組み合わせた際に、効果的な価格変動リスクの低減が期待される。

※投資信託証券(ファンド名)および運用会社名の正式名称については、「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

出所: 大和ファンド・コンサルティング

《ファンドの目的・特色》

ファンドの目的

・内外の株式・債券・リート（REIT）およびコモディティ（商品先物取引等）に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

ファンドの特色

- ・複数の投資信託証券への投資を通じて、内外の株式・債券・リートおよびコモディティに投資します。
- ・「ライフハーモニー（ダイワ世界資産分散ファンド）（成長型）」、「ライフハーモニー（ダイワ世界資産分散ファンド）（安定型）」、「ライフハーモニー（ダイワ世界資産分散ファンド）（分配型）」の3つのファンドがあります。
- ・資産配分、投資信託証券の選定、組入比率の決定にあたっては、株式会社 大和ファンド・コンサルティングの投資助言を受け、これを行ないます。
- ・3つのファンドは、それぞれ年2回または年6回決算を行ない、収益分配方針に基づいて収益の分配を行ないます。

◆ベンチマークについて

・Russell/Nomura Mid - Small Cap インデックスは、Russell/Nomura 日本株インデックスのサイズ別指数です。Russell/Nomura Mid - Small Cap インデックスは、Russell/Nomura TotalMarket インデックスの時価総額下位銘柄からなり、全時価総額の約50%を占めます。Russell/Nomura Mid - Small Cap インデックスは、野村フィデューシャリー・リサーチ & コンサルティング株式会社が公表している指数で、同指数の知的財産権およびその他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ & コンサルティング株式会社および Frank Russell Company に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ & コンサルティング株式会社および Frank Russell Company は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当ファンドの設定の可否、運用成果等ならびに当ファンドおよび同指数に関連して行なわれる当社のサービス提供等の行為に関して一切責任を負いません。

・MSCI コクサイ・インデックスおよび MSCI エマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.が開発した指数です。本ファンドは、MSCI Inc.（「MSCI」）によって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、MSCI は本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任も負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。

[<https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html>]

・NOMURA-BPI とは、野村フィデューシャリー・リサーチ & コンサルティング株式会社が公表する日本の公募債券流通市場全体の動向を的確に表す代表的な指標です。NOMURA-BPI の知的財産権およびその他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ & コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ & コンサルティング株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当ファンドの設定の可否、運用成果等ならびに当ファンドおよび同指数に関連して行なわれる当社のサービス提供等の行為に関して一切責任を負いません。

・JP モルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・グローバル・ダイバーシファイド（JP モルガン EMBI グローバル・ダイバーシファイド）とは、J.P.Morgan Securities LLC が公表する債券指数です。同指数に関する著作権等の知的財産権およびその他一切の権利は J.P.Morgan Securities LLC に帰属します。

・ブルームバーグ US コーポレート・ハイ・イールド・インデックスとは、米ドル建てハイ・イールド債市場のパフォーマンスをあらわすものです。

ブルームバーグは、ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーの商標およびサービスマークです。ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーおよびその関係会社（以下「ブルームバーグ」と総称します。）またはブルームバーグのライセンサーは、ブルームバーグ・インデックスに対する一切の独占的権利を有しています。

・S&P 先進国 REIT 指数（除く日本、円換算）の所有権およびその他一切の権利は、S&P Dow Jones Indices LLC が有しています。S&P Dow Jones Indices LLC は、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

・Daiwa“RICI”Fund（ダイワ“RICI”ファンド）についての注記

「Daiwa“RICI”Fund」は James Beeland Rogers、Jim Rogers または Beeland Interests, Inc.（以下、当注記において、総称して「Beeland」といいます。）により提供、保証、販売または販売促進されるものではありません。Beeland はファンド購入者、すべての潜在的ファンド購入者、政府当局、または公衆に対して、一般的な証券投資、特にファンドへの投資の助言能力を、明示的にも暗示的にも、表明または保証するものではありません。Beeland は Rogers International Commodity Index の決定、構成、算出において大和アセットマネジメント株式会社およびその関連会社、またはファンド購入者の要求を考慮する義務を負いません。Beeland はファンドが発行される時期、価格もしくは数量の決定またはファンドが換金されるもしくは他の金融商品、証券に転換される際に使用される算式の決定または計算の責任を負わず関与もしていません。Beeland はファンドの管理、運営、販売、取引に関して義務または責任を負いません。「Jim Rogers」、「Rogers International Commodity Index」および「RICI」は、James Beeland Rogers、Jim Rogers または Beeland Interests, Inc.のトレードマークおよびサービスマークであり、使用許諾を要します。

《投資リスク》

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、**投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。**基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

価格変動リスク・信用リスク 株価の変動	組入資産の価格が下落した場合には、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割込むことがあります。 株価は、政治・経済情勢、発行企業の業績、市場の需給等を反映して変動します。発行企業が経営不安、倒産等に陥った場合には、投資資金が回収できなくなることもあります。新興国の株式市場は、欧米等の先進国の株式市場に比べ、一般に市場規模や取引量が小さく、流動性が低いことにより本来想定される投資価値とは乖離した価格水準で取引される場合もあるなど、価格の変動性が大きくなる傾向が考えられます。
価格変動リスク・信用リスク 公社債の価格変動	組入資産の価格が下落した場合には、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割込むことがあります。 公社債の価格は、一般に金利が低下した場合には上昇し、金利が上昇した場合には下落します。また、公社債の価格は、発行体の信用状況によっても変動します。特に、発行体が債務不履行を発生させた場合、またはその可能性が予想される場合には、公社債の価格は下落します。 ハイ・イールド債や新興国債券等の格付けの低い債券については、格付けの高い債券に比べてこうしたリスクがより高いものになると想定されます。
価格変動リスク・信用リスク リートの価格変動	組入資産の価格が下落した場合には、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割込むことがあります。 リートの価格は、不動産市況の変動、リートの収益や財務内容の変動、リートに関する法制度の変更等の影響を受けます。
商品先物取引等による運用に伴う リスク	商品先物等の取引価格は、さまざまな要因（商品の需給関係の変化、天候、農業生産、貿易動向、為替レート、金利の変動、政治的・経済的事由および政策、疾病、伝染病、技術発展等）に基づき変動します（個々の品目により具体的な変動要因は異なります。）。 当ファンドの基準価額は、商品先物市場の変動の影響を受け、投資元本を下回ることがあります。
為替変動リスク	外貨建資産については、資産自体の価格変動のほか、当該外貨の円に対する為替レートの変動の影響を受けます。組入外貨建資産について、当該外貨の為替レートが円高方向に進んだ場合には、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割込むことがあります。 特に、新興国の為替レートは短期間に大幅に変動することがあり、先進国と比較して、相対的に高い為替変動リスクがあります。
カントリー・リスク	投資対象国・地域において、政治・経済情勢の変化等により市場に混乱が生じた場合、または取引に対して新たな規制が設けられた場合には、基準価額が予想外に下落したり、方針に沿った運用が困難となることがあります。 新興国への投資には、先進国と比べて大きなカントリー・リスクが伴います。
その他	解約資金を手当てするため組入証券を売却する際、市場規模や市場動向によっては市場実勢を押下げ、当初期待される価格で売却できないこともあります。この場合、基準価額が下落する要因となります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

その他の留意点

- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。
- 当ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要がある場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金の申込みの受け付けが中止となる可能性、換金代金のお支払いが遅延する可能性があります。

《ファンドの費用》

投資者が直接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
購入時手数料	販売会社が別に定める率 (上限) <u>2.2%(税抜2.0%)</u>	購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価です。
信託財産留保額	ありません。	—
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
運用管理費用 (信託報酬)	年率1.276% (税抜1.16%)	運用管理費用の総額は、日々の信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。運用管理費用は、毎日計上され日々の基準価額に反映されます。
配分 (税抜) (注1)	委託会社	年率0.47%
	販売会社	年率0.65%
	受託会社	年率0.04%
投資対象とする 投資信託証券 (目論見書作成時点)	年率0%～1.15%	投資対象ファンドにおける運用管理費用等です。
実質的に負担する 運用管理費用の概算値 (目論見書作成時点)	(成長型) <u>年率1.920%(1.2760%～2.4260%)程度(税込)</u> (安定型) <u>年率1.751%(1.2760%～2.2891%)程度(税込)</u> (分配型) <u>年率1.736%(1.2760%～2.2891%)程度(税込)</u>	(実際の組入状況等により変動します。) (実際の組入状況等により変動します。) (実際の組入状況等により変動します。)
その他の費用・ 手数料	(注2)	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。

(注1)「運用管理費用の配分」には、別途消費税率を乗じた額がかかります。

(注2)「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※購入時手数料について、くわしくは販売会社にお問合わせ下さい。

※運用管理費用の信託財産からの支払いは、毎計算期末または信託終了時に行なわれます。

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。また、上場不動産投資信託は市場価格により取引されており、費用を表示することができません。

購入単位	最低単位を 1 円単位または 1 口単位として販売会社が定める単位
購入価額	購入申込受付日の翌々営業日の基準価額 (1 万口当たり)
購入代金	販売会社が定める期日までにお支払い下さい。
換金単位	最低単位を 1 口単位として販売会社が定める単位
換金価額	換金申込受付日の翌々営業日の基準価額 (1 万口当たり)
換金代金	原則として換金申込受付日から起算して 6 営業日目からお支払いします。
申込受付中止日	ニューヨークの銀行またはロンドンの銀行のいずれかの休業日 (注) 申込受付中止日は、販売会社または委託会社にお問合わせ下さい。
申込締切時間	原則として、午後 3 時 30 分まで (販売会社所定の事務手続きが完了したもの) なお、販売会社によっては異なる場合がありますので、くわしくは販売会社にお問合わせ下さい。
換金制限	信託財産の資金管理を円滑に行なうために大口の換金申込には制限があります。
購入・換金申込受付 の中止および取消し	金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止その他やむを得ない事情があるときは、購入、換金の申込みの受け付けを中止することがあります。
スイッチング (乗換え)	「成長型」、「安定型」および「分配型」の間でスイッチング (乗換え) を行なうことができます。
繰上償還	次のいずれかの場合には、委託会社は、事前に受益者の意向を確認し、受託会社と合意のうえ、 信託契約を解約し、信託を終了させること (繰上償還) ができます。 ・受益権の口数が 30 億口を下ることとなった場合 ・信託契約を解約することが受益者のため有利であると認めるとき ・やむを得ない事情が発生したとき
収益分配	・ライフハーモニー (ダイワ世界資産分散ファンド) (成長型) 年 2 回、収益分配方針に基づいて収益の分配を行ないます。 (注) 当ファンドには、「分配金再投資コース」と「分配金支払いコース」があります。なお、お取扱い可能なコースおよびコース名については異なる場合がありますので、販売会社にお問合わせ下さい。 ・ライフハーモニー (ダイワ世界資産分散ファンド) (安定型) 年 2 回、収益分配方針に基づいて収益の分配を行ないます。 (注) 当ファンドには、「分配金再投資コース」と「分配金支払いコース」があります。なお、お取扱い可能なコースおよびコース名については異なる場合がありますので、販売会社にお問合わせ下さい。 ・ライフハーモニー (ダイワ世界資産分散ファンド) (分配型) 年 6 回、収益分配方針に基づいて収益の分配を行ないます。 (注) 当ファンドには、「分配金再投資コース」と「分配金支払いコース」があります。なお、お取扱い可能なコースおよびコース名については異なる場合がありますので、販売会社にお問合わせ下さい。
課税関係	課税上は株式投資信託として取扱われます。配当控除、益金不算入制度の適用はありません。 公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合に NISA (少額投資非課税制度) の適用対象となります。 当ファンドは、NISA の対象ではありません。 ※税法が改正された場合等には変更される場合があります。

《収益分配金に関する留意事項》

- ◆ 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

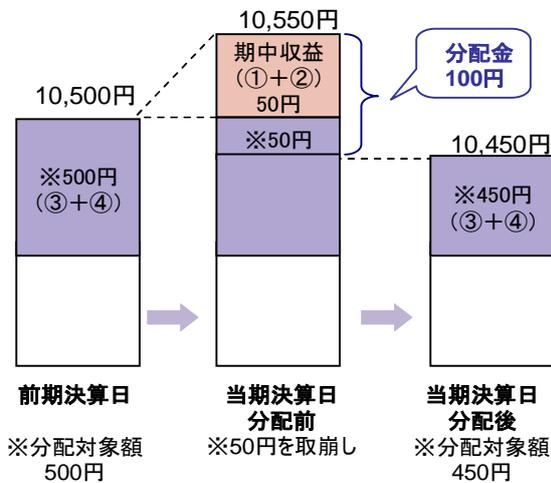
投資信託で分配金が支払われるイメージ



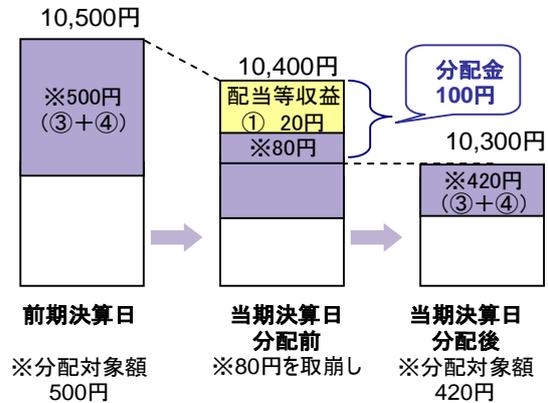
- ◆ 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

前期決算日から基準価額が上昇した場合



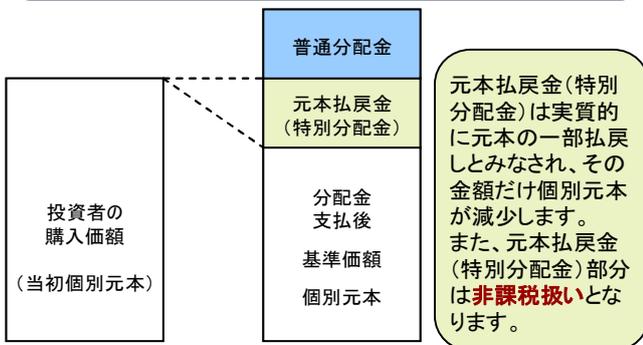
前期決算日から基準価額が下落した場合



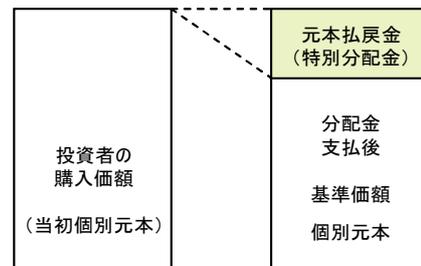
(注) 分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

- ◆ 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



普通分配金：個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金：個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の(特別分配金)額だけ減少します。

※上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

◀ 当資料のお取り扱いにおけるご注意 ▶

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和アセットマネジメントにより作成されたものです。
- 当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認くださいのうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していませんので、投資者のみなさまの実質的な投資成果を示すものではありません。
- 当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。
- 分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

販売会社等についてのお問い合わせ

▶ **大和アセットマネジメント** フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00~17:00)

当社ホームページ

▶ <https://www.daiwa-am.co.jp/>

ライフハーモニー（ダイワ世界資産分散ファンド）（成長型）
 ライフハーモニー（ダイワ世界資産分散ファンド）（安定型）
 ライフハーモニー（ダイワ世界資産分散ファンド）（分配型）

販売会社名（業態別、50音順） （金融商品取引業者名）		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 第二種金融商 品取引業協会
大和証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第108号	○	○	○	○

上記の販売会社は今後変更となる場合があります。また、販売会社によって、新規のご購入の取扱いを行っていない場合や、お申込み方法・条件等が異なります。くわしくは、販売会社にお問合わせ下さい。